

VOL.25



プラスチックの未知なる可能性を追究し、様々な社会の課題挑む。この姿勢を茶道や武道といった『道』を究める姿になぞらえ『樹脂道』と名付けました。



高峰譲吉博士

ここから

樹脂道
じゆしどう

始まる



レオ・ベークランド博士

高峰譲吉博士は消化酵素タカジアスターゼの発明やアドレナリンの発見など、日本を代表する化学者の一人です。高峰博士がアメリカのニューヨーク化学会で出会ったのがレオ・ベークランド博士です。ベークランド博士は、世界最初の人工的に合成されたプラスチック「フェノール樹脂」を創造し、『ベークライト』と名付けました。ベークランド博士は、親友となった高峰博士に特許料なしで技術を供与し、日本での製造を許可しました。こうして当社の前身である「日本ベークライト」社で1911年、試作製造が開始され、今日に至ります。二人の道が交わって始まった日本のプラスチック産業。時代の変化と共に研究・開発が進められ、今やプラスチックは人々の生活に欠かせない素材となっています。さまざまな産業の発展や快適な暮らしを実現するために住友ベークライトの「樹脂道」は続いていきます。新しい年も、どうぞよろしくお願いいたします。

プラスチックのパイオニア

 住友ベークライト株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル
TEL:03-5462-4111 FAX:03-5462-4873 <https://www.sumibe.co.jp>

